

氷上大会

二月十四日、新細尾町と清滝地区で、恒例になった氷上大会が行われ、残り少なくなつたウインタースポーツを楽しみました。細尾リンクで行われた新細尾町の氷上大会は今年で四回目。地区の住民が一堂に集まって親睦を深めようと、自治会が主催して行ったものです。

この大会に参加したのは、幼稚園児、小学生とその父兄ら約二百人。氷上での玉入れリレー、自動車のタイヤに人を乗せて運ぶ人運びリレー、百足競走、ふうせん割りゲームなど趣向をこらした競技を楽しみました。

また、リンクの外では自治会婦人部の協力で、焼きそば、おでんなどが出されるなど楽しい氷上大



賞品を手到大喜びの朋美ちゃん

みんなのひろば



ふうせん割りゲーム（新細尾町）会になりました。

一方、九回目を迎えた清滝地区の「小学生氷上スケート大会」も午前八時過ぎから電工リンクで行われ、地区の小学生約三百人が参加、ポール運び、数字合せなどのゲームに歓声をあげていました。日ごろ鍛えたスケータリングも勝手の違う競技のためか、とまどいながらも真剣に競技に取り組んでいました。

よい歯のコンクール

昭和五十六年度三歳児よい歯のコンクールで、関口正勝さん（細尾町一七六）の長女朋美ちゃんが、

見事優良賞を受賞しました。

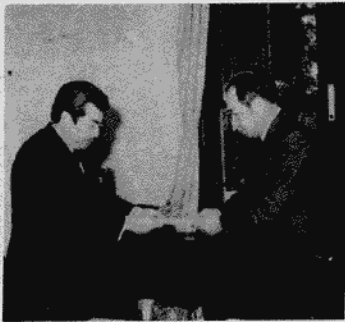
このコンクールは、県内の三歳児すべてを対象に行われたもので、十一人選ばれた中の一人です。また、今市保健所管内（日光、今市、藤原、足尾、栗山）では、朋美ちゃんがただ一人の受賞者です。

朋美ちゃんは、生後七か月ごろから、兄の淳君が歯をみがくのを見て歯ブラシを使うようになり、今は、毎日朝と寝る前には欠かさず歯みがきをしています。

食べ物に好き嫌いがなく、チョコレートやアメなどの甘いものも大好きだという朋美ちゃん。虫歯予防にはやはり歯をよくみがくことが大切なようです。

篤志寄付

小西美術工芸社社長小西陳雄氏は、二月九日、斎藤市長を訪れ、



五十万円を寄付する小西氏（左）

「広域授産施設設置の一助にしてほしい」と、五十万円を寄付しました。

これは、昨年秋亡くなられた小西美術工芸社前社長の故小西重太郎氏の遺志を受け継いだもので、斎藤市長は「故人の遺志に報いるためにも、寄付の趣旨のとおり、有効に役立つよう努力します」と約束しました。

善意銀行

一月中に日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に深く感謝いたします。（敬称略）

- （現金預託）
- ◎市内の恵まれない子に 古橋登喜子（所野）千円、植木善見（匠町）二千元 ◎下野三楽園に 竹沢啓三（下鉢石町）千円 ◎身体障害者に 親和会孔版社有志（清滝二丁目）四千元、小平喜久（中宮祠）五千元、山田春子（所野）千五百円、匿名 三万円 ◎身体障害者友愛会に 匿名 四千元
- ◎重度障害者施設に 山田栄一（所野）一万七千四百二十二円 ◎老人福祉に 寺田良一（安川町）三千元、倉井あけみ（細尾町）一万円、倉井博典（細尾町）七千元
- ◎母子福祉連合会に 匿名 二万三千元
- （物品預託）

身体障害者相談員

◎身体障害児に 鶴島アヤ（安川町）おしめ二十枚 ◎市内施設に 本町老人クラブ 雑布百三枚

〔香典返し廃止による預託〕

◎老人福祉に 戸井田昭雄（安良沢町）五万円

身体障害者の更生援護に関する相談や助言、指導を行ったり、あるいは障害者福祉活動の推進を図るなど、身体障害者のために中心的な役割を果たす「身体障害者相談員」に、山本正三氏と吉新晃治氏の二名が県知事から任命されました。任期は、昭和五十八年九月三十日までです。

山本氏と吉新氏は、それぞれ、昭和四十六年、四十七年から身体障害者相談員を務め、この間、数々の相談や指導を行うなど、障害者福祉向上のために精力的に活動を続けています。

- ◎山本正三氏（下鉢石町九三五―二 五五四―〇六〇九）
- ◎吉新晃治氏（松原町二二三―一六 五五四―〇三四四）

人事

- （一）内は前任者名、敬称略
- 日光市消防団第十分団
- ▽分団長 大橋仁一（福田博展）
- ▽副分団長 星野真一（大橋仁一）